

歯科衛生士研修会

★日本歯科衛生士会専門研修（基本研修）に単位申請予定
（共催：公益社団法人東京都歯科衛生士会）

受講料
無料



歯科衛生士

対象

東京都内在勤または在住の歯科衛生士

プログラム

第1回

①「歯科心身症への理解と対応の実際」

精神疾患は、厚生労働省が定める5大疾病の一つで近年大幅に増加しています。今回は、舌痛症や咬合関連などの不定愁訴に悩まされる「歯科心身症」の方が歯科受診をされた際、どのように対応していけばよいのかを学びます。

豊福 明（東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 歯科心身医学分野 教授）

②「行動変容につながる保健指導 ～その理論と応用～」

日々、ブラッシング方法や生活習慣など患者に適した保健指導を行っていても、なかなか患者の変容が認められず苦慮することも多いのではないのでしょうか。行動変容とは何か、人を健康行動へと導くためにはどのようなアプローチが必要か、その理論と臨床での活かし方を学びます。

野村 正子（日本歯科大学 東京短期大学 歯科衛生学科 准教授）

第2回

①「SRPに必要な歯の形態を読み解く」

さまざま疾患からホームケアが困難となりやすい障害のある方は、歯周疾患の罹患率が高く、歯周病管理においてプロフェッショナルケアの質が重要となります。歯肉縁下にアプローチする際、歯根形態の特徴を考慮したインスツルメンテーション時の方法について理解を深めていきます。

景山 正登（景山歯科医院 院長）

②「歯科衛生士が知っておきたい咬合の基礎知識」

障害のある方の中には、筋緊張による歯牙の傾斜や著しい咬耗など、安定した咬合が得られずトラブルを引き起こすケースも少なくありません。今回は、力の影響によって起こる現象や歯科衛生士が気づくべきポイントなど、咬合の基礎知識を学びます。

松島 正和（神田歯科医院 院長）

第3回

①「口腔機能発達不全症について学ぼう！ ～基本と指導の実際～」

口腔機能発達不全症は口唇閉鎖不全や咀嚼機能の未成熟などにより、食べる機能や話す機能に影響を及ぼします。今回は、口腔機能の育成や向上のために必要な、乳幼児からの口腔機能の発達や口腔機能発達不全症の病態、アプローチ方法について学びます。

浜野 美幸（千葉歯科医院 院長）

②「小児への在宅医療 ～歯科衛生士による口腔ケア～」

医療の高度化に伴い、出生後に一命を取り留めても障害が残り、経管栄養や人工呼吸などの医療的ケアを必要とする子どもがいます。その子どもが在宅で生活する場合には、多職種での支援が大切となります。今回は、在宅医療での重度心身障害のある子どもに対して歯科衛生士が行う口腔ケアの流れや実際についてご紹介します。

中村 郁子（兼久歯科医院 歯科衛生士）

日時

第1回 令和3年7月 4日(日) ①10:00～11:30 ②12:30～14:00

第2回 令和3年8月29日(日) ①10:00～11:30 ②12:30～14:00

第3回 令和4年1月30日(日) ①10:00～11:30 ②12:30～14:00

申込期間 第1回：5月6日～6月21日／第2回：6月28日～8月16日／第3回：12月1日～1月17日

会場

東京都立心身障害者口腔保健センター 8階研修室
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ8・9階（事務棟）

○JR利用の場合

「飯田橋」駅下車 西口改札 徒歩4分

○地下鉄利用の場合（東京メトロ東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線）

「飯田橋」駅下車 B2b出口（セントラルプラザ1階ロビー直結）



申込方法

- ① FAX申込書(P44)に必要な事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
 - ② 電話（平日9時～17時）にてお申込み下さい。
 - ③ 当センターホームページの「研修申込」から専用フォームにてお申込み下さい。
- 定員：各回 50名



お申込・お問合せ先

東京都立心身障害者口腔保健センター 研修担当

電話 03-3235-1141 FAX 03-3235-1144

URL <https://tokyo-ohc.org>

★詳細はホームページをご覧ください。



研修会ページへ